

令和 3 年 5 月 23 日現在

機関番号：12603

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2020

課題番号：18K00497

研究課題名(和文) ペルシア語神秘主義詩人ルーミーのマスナヴィー(叙事詩)に関する基礎的研究

研究課題名(英文) A Basic Research on Mowlavi's Masnavi

研究代表者

佐々木 あや乃 (SASAKI, Ayano)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：60272613

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：研究代表者は本研究において、ルーミーの一大神秘主義叙事詩『精神的マスナヴィー』の説話部分の和訳を完成させ、出版に向けた準備に着手した。イラン社会が生き生きと描写された説話を日本語で紹介することは、ルーミーの紡いだ言葉の意味を日本人が吟味・咀嚼し、イスラーム神秘主義思想への知見を深める絶好の機会となる。

また、国内外を問わず使用可能で信頼のおける『精神的マスナヴィー』のデータベース作成の可能性を探り、エンジニア班、入力・校閲班で検討を重ねた結果、年に1巻程度のペースで作成可能と判断するに至り、本研究では第1巻のデータベースが完成した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

日本では、これまでペルシア神秘主義詩の最高峰ルーミーの詩作品が、原典であるペルシア語からの翻訳として紹介されることはなかった。本研究によって、ルーミーの一大神秘主義叙事詩『精神的マスナヴィー』の説話部分の和訳が完成したことは、日本におけるルーミー研究の加速に繋がるのみならず、13世紀のイラン社会や当時流布していたイスラーム神秘主義思想を日本人が知るきっかけにもなり得る。

また、『精神的マスナヴィー』の本格的な研究進展に向け、最も定評高いコニヤ版に基づいたデータベースの構築の足がかりを得たことは、今後のルーミー研究に大いに資することとなるのは言を俟たない。

研究成果の概要(英文)：In this research, the principal researcher completed the Japanese translation of the anecdote parts of Rumi's great mystical epic "Masnavi-ye ma'navi" and began to write the explanation for publication. Introducing so many anecdotes of Iranian society in Japanese is a great opportunity for the Japanese to examine and chew the meaning of the words spun by Rumi and deepen their knowledge of Islamic mysticism.

In addition, as a result of exploring the possibility of creating a reliable "Masnavi-ye ma'navi" database that can be used in all over the world, and as a result of repeated examinations by the engineer group and the input/review group, It was decided that it could be created at a pace of about one volume a year. In this way, we completed the database for Volume 1.

研究分野：ペルシア古典文学、イスラーム神秘主義文学

キーワード：ルーミー(モウラヴィー) ペルシア語神秘主義文学 精神的マスナヴィー イラン データベース
コニヤ版

1. 研究開始当初の背景

(1) 研究代表者の研究の関心

研究代表者は本研究開始当初、12世紀のペルシア語神秘主義詩人アッタール(Farīd al-Dīn Muḥammad ‘Aṭṭār Nīshābūrī, 1145?-1221 or 29/30)の叙事詩『神の書(*Ilāhī-nāmah*)』という長篇説話文学の翻訳をほぼ終え、刊行を待つばかりの状態にいた。そのアッタールと、研究代表者が長きにわたって研究対象としている14世紀のペルシア語抒情詩の最高峰ハーフィズ(Hafīz Shīrāzī; Shams al-Dīn Muḥammad ibn Muḥammad, 1326?-90頃)との間に登場した、ペルシア語神秘主義詩人の最高峰と評されるルーミー(またはモウラヴィー)のことばに、研究代表者は新たな関心を抱き始めていた。ペルシア文学史上、ルーミーは最も優れた神秘主義詩人であり、ペルシア語圏では広く知られた偉大な詩人である。そして、神秘主義を語るために叙事詩形を初めて用いたサナーイー(Abū al-Majd Majdūd ibn Ādam Sanā’ī Ghaznavī, 1074-1134)やアッタールの叙事詩作品同様、説話が多く盛り込まれたルーミーの叙事詩『精神的マスナヴィー』という大作の説話部分に着目した。

(2) 世界と日本のルーミー研究の状況

2000年代以降欧米においてはルーミー研究が進み、昨今ではイラン本国においてもルーミーの研究センターやルーミー関連プロジェクトが立ち上げられ始めた。イランでは、イスファハン大学文学部内にイスラーム神秘主義文学研究のCOEが設置され、毎年のようにルーミー学会も開催され始めている。翻って日本では、1970年代にルーミーの散文作品『フィーヒ・マー・フィーヒ』の井筒俊彦訳(邦題:ルーミー語録)が岩波書店から刊行された後、近年、英語からのルーミー作品のごく一部の邦訳が出版されたのみで、ルーミー研究は殆どおこなわれてこなかった。

ルーミーには、一大叙事詩作品『精神的マスナヴィー』と『シャムス・タブリーズ抒情詩集』という神秘主義思想を詠った傑作がありながら、本研究開始当初の2018年の段階では、ペルシア語原文のテキストに基づいた日本での研究はほぼ皆無であった。つまり、詩人としてのルーミーも、ルーミーの生み出した作品やことばも、日本ではほぼ知られていないに等しかったのである。

そこで、研究代表者はまず、ルーミーの叙事詩『精神的マスナヴィー』のテキストを丹念に読み込み、テキスト自体の分析、とりわけ説話部分に基づいた研究に取り組むこととした。

2. 研究の目的

(1) 『精神的マスナヴィー』の説話部分の紹介と分析

本研究は、ペルシア神秘主義詩の最高峰と評されるルーミーの『精神的マスナヴィー』のテキスト分析によって、当時のイラン社会に生きる人々の姿を通して、人間として生を享けた者の理想的な生き方を説く、人生の指標となり得るルーミーの珠玉のことばたちを日本語で提示したうえで研究を遂行することにより、イスラーム神秘主義思想と日本人の心的距離を近づけることを目的とする。『精神的マスナヴィー』は、ルーミーの連想と彼の用いた数多の説話に彩られた作品であるため、第一段階として、作品内の説話を読み込み、テキスト分析をおこない、研究期間内に説話部分の邦訳の完成をも目指す。

(2) 『精神的マスナヴィー』のデータベース作成の可能性を探る

テキストの分析にあたり、データベースがあることが望ましいと考えたため、全6巻にわたる大部なペルシア語韻文作品のデータベース化が可能か否かについて模索し、可能であればデータベース作成に着手することも本研究の目的の一部とした。

3. 研究の方法

(1) 作品の説話部分の翻訳と研究

研究代表者は、『精神的マスナヴィー』の説話部分の翻訳を進め、下訳を完成させる。ルーミーの連想部分については研究代表者は触れないこととする。また、ルーミーやイスラーム神秘主義思想に関連した研究成果を発表する。研究の成果については論文執筆のみならず、イランでの学会発表を目指す。

(2) 資料蒐集

研究分担者(2018年・2019年のみ)は、ルーミー研究に不可欠な基本文献の蒐集をおこなう。研究代表者も情報提供をはじめとして、研究分担者の資料蒐集に可能な限り協力する。

(3) データベース作成の可能性を探る

研究代表者は、エンジニア班との話し合いを重ね、『精神的マスナヴィー』のデータベース作

成が可能かどうか検討する。可能となった場合には、イラン本国の研究者の助けを借り、データベース作成のために必要な Word ファイルデータの提供を受けることを視野に入れる。

4．研究成果

(1) 作品の説話部分の翻訳と研究、研究発表について

研究代表者は、『精神的マスナヴィー』の説話部分の下訳を完成させるに至った。また、出版に向けて解説部分の執筆にも着手した。ルーミーまたはイスラーム神秘主義思想に関連した研究成果としては、研究代表者が期間中 6 本の論文を発表、訳書 1 冊を刊行し、研究分担者も 1 本の論文を発表した。

コロナ禍により、イランの研究者たちとの意見交換やイランでの研究発表はお互いに訪問できず、実現は叶わなかった。オンラインによる研究会開催も試みようとして互いに働きかけはしたものの、時差や繁忙期のずれにより、本科研においての実現には至らなかった。この点に関しては今後の課題である。

(2) 資料蒐集について

研究分担者(2018年・2019年)は、ルーミー研究に不可欠な基本文献の蒐集をおこない、関連資料の充実を図ることができた。また、イランで最新の国立言語アカデミー監修の『精神的マスナヴィー』を入手できたことは、将来的なルーミー研究において大いに有用である。

(3) データベース作成について

研究代表者は、エンジニア 2 名の協力を得て話し合いを重ね、2019 年度にデータベース作成可能と判断するに至り、最終年度(2020 年度)に第 1 巻の入力・校閲作業に着手した。まず、イランでルーミー研究の中心を担うイスファハン大学文学部の研究者の助けを借り、データベース作成のために必要なニコルソン版 Word ファイルデータの提供を受けることができた。そして、入力・校閲担当者 2 名によって、それを最も定評あるコニヤ版に修正する形をとりながら、『精神的マスナヴィー』第 1 巻、全 4003 詩行のデータベースを完成させるに至った。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計7件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 佐々木あや乃	4. 巻 98
2. 論文標題 物申す「社会的弱者」たち アッタール著『神の書』から中世イラン社会を見つめる	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東京外国語大学論集	6. 最初と最後の頁 102, 125
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Purnamdarian, Taqi; 佐々木あや乃	4. 巻 50
2. 論文標題 スフラワルディーの象徴物語「深紅の知性」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 慶應義塾大学言語文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 1, 19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 佐々木あや乃	4. 巻 97
2. 論文標題 ハーフェズ詩注解(13)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東京外国語大学論集	6. 最初と最後の頁 246, 261
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 佐々木あや乃	4. 巻 1
2. 論文標題 Mokhatab-shenasi-ye hekayat-ha-ye Ilahi-namah	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Majmu'e-ye maqalat-e nokhoshtin hamayesh-e beynol-melalli-ye zaban-e farsi va andishe-ye Irani-Islami darbare-ye Farid al-Din 'Attar-i Nishaburi (1)	6. 最初と最後の頁 2028, 2053
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 FUJII Morio	4. 巻 3
2. 論文標題 The View of Language of the Khurasan school of Mysticism, Tasawwuf-i Khurasan: An Essay Considering The Basic Structure of Mystical Discourse from the Perspective of "Unutterable Language" (Kalam nafsi)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Islamic Studies and the Study of Sufism in Academic : Rethinking Methodologies	6. 最初と最後の頁 331,351
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐々木あや乃	4. 巻 100
2. 論文標題 ハーフェズ詩注解(14)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京外国語大学論集	6. 最初と最後の頁 185, 204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐々木あや乃	4. 巻 24
2. 論文標題 ペルシア語神秘主義文学にみるマラクート 求道者の自己探求の旅を辿る	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 総合文化研究	6. 最初と最後の頁 16, 34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計1件

1. 著者名 佐々木あや乃	4. 発行年 2019年
2. 出版社 平凡社	5. 総ページ数 549
3. 書名 神の書 イスラーム神秘主義と自分探しの旅	

〔産業財産権〕

〔その他〕

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	藤井 守男 (FUJII Morio) (90143619)	東京外国語大学・その他部局等・名誉教授 (12603)	2018、2019年度のみ。

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------